



## 捨ててみた社会性

柴生田 晴四  
(経済倶楽部理事長)

▼電気炊飯器を捨てて信楽焼の陶器でできた「かまどさん」に替えガスコンロにかけて12分、炊きあがったご飯のおいしさは衝撃でした。もちろん炊飯器のような保温機能はありませんが、冷めてもおいしいし、蒸せば炊き上がりに近いおいしさで食べられます。買って間もない7万円台の炊飯器を8千円程度の「かまどさん」に替えて正解でした。

▼事の発端は社長時代に東京ガスの社長を表

▼わたなべさんのやめてみたものがすべてその通りだとは言いません。しかし、高度成長期以来の日本人が当たり前のように受け入れてきた機械文明が本当にわれわれの生活を豊かにしてきたのか。そろそろ立ち止まって考え直す時がきたのではないのでしょうか。

▼我が家には自動車がありません。一時期は妻の買った車がありました。でも、それもずっと前に捨ててしまいました。どこへ行くのにも車で移動し、運動不足だと言われるとスポーツジムで機械に歩かされるような倒錯した生き方はまっぴらです。地球温暖化を防ぐためにEVに転換してひたすら電力消費を増やすような方向を選ぶのはいかなものではないでしょうか。生活そのもののスリム化が必要です。

敬訪問した時でした。ちょうど築10年を過ぎた我が家の厨房機器を全面リニューアルした後で、私がガスコンロの機能と安全性の向上がすばらしいと話す、相手方が私の話にうなずきながら「もうかまどさんは使いましたか」と返してきたのです。土から作られる陶器製の窯は、製造面でも、消費エネルギーの点でも、そして壊れた後の廃棄物においても、まさに地球にやさしい製品です。そしてまがいなく素材からすべて国産100%の商品です。私はその日のうちにインターネットで注文して取りよせ、さっそく試してみました。結果は上々で、これまで長い間疑うことなかった電化製品の有難みに初めて別の選択肢があることに気づかされたのでした。

▼わたなべさんのやめてみたものがすべてその通りだとは言いません。しかし、高度成長期以来の日本人が当たり前のように受け入れてきた機械文明が本当にわれわれの生活を豊かにしてきたのか。そろそろ立ち止まって考え直す時がきたのではないのでしょうか。

▼我が家には自動車がありません。一時期は妻の買った車がありました。でも、それもずっと前に捨ててしまいました。どこへ行くのにも車で移動し、運動不足だと言われるとスポーツジムで機械に歩かされるような倒錯した生き方はまっぴらです。地球温暖化を防ぐためにEVに転換してひたすら電力消費を増やすような方向を選ぶのはいかなものではないでしょうか。生活そのもののスリム化が必要です。